

施策評価調書(27年度実績)

施策コード Ⅲ-2-(3)

政策体系	施策名	文化財・伝統文化の保存・活用・継承	所管部局名	教育庁	長期総合計画頁	153
	政策名	芸術文化による創造県おいたの推進	関係部局名	教育庁		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	文化財・伝統文化の保存	文化財・伝統文化の活用	文化財・伝統文化の継承

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i 国・県指定の文化財数(件)	①	H26	894	900	899	99.9%	920	945						
ii 県立歴史博物館・県立先哲史料館・埋蔵文化財センターの利用者数(万人)	③	H26	10.1	10.15	10.99	108.3%	11.3	11.5						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	概ね達成	地域に受け継がれてきた文化財の新たな指定や登録の推進を行ったことにより、目標値を概ね達成した。	達成
ii	達成	歴史博物館・先哲史料館・埋蔵文化財センターにおいて、展示内容の充実や広報活動に努めたことにより、目標値を達成した。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・国・県指定文化財の整備66件を通じて、各地の文化拠点となっている文化財の保存を推進することができた。
②	・地域の文化財魅力度アップ事業で「文化財の修復現場公開」を12件実施(15,006人参加:H27実績)したことで、文化財の新たな魅力を発信することができた。
③	・豊前神楽保存連合会の組織化を支援し、個々の団体ではなく、連合会制度を用いた神楽の保存継承に着手した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①②	地域の文化財魅力度アップ事業	36,090	A	終了	204
③	特別展開催事業	17,814	C	継続・見直し	205

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第2回大分県文化財保護審議会(H27.12) ・県内の歴史資料館等とのネットワークを構築し、歴史博物館がその中心となることが望まれる。</p>	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財・伝統文化が将来世代に確実に引き継がれていくよう、指定・登録制度を活用し、適切に保存・管理する体制づくりを推進する。 ・文化財・伝統文化を観光振興や地域振興に積極的に活用する市町村の取り組みを支援する。 ・文化財・伝統文化をストーリー化し、広域的に連携して活用する市町村の取り組みを支援するなど、地域活性化につながる新たな観光素材の創出や郷土愛の醸成を図る。 ・地域の人々の精神的拠り所でもある伝統芸能への理解を促進するため、発表機会の充実を図る。 ・各種広報番組や教育庁チャンネル等を活用し、文化財・伝統文化についての積極的な情報発信を行う。 ・展示内容の充実や来館者アンケート等によるニーズの把握により、歴史博物館、先哲史料館、埋蔵文化財センターの利用者数を増やし、文化財や伝統文化の保存に対する一層の理解の浸透を図る。 ・歴史博物館や埋蔵文化財センター、国や大学の研究機関等との連携により、職員の文化財の修復・保存に関する技術のスキルアップを図る。